目標

内容

学級と授業のルールを作り、システム化するスキルを知る。

教師と子どもの出会いを演出するスキル 学級のルールを作り、システム化するスキル

・子ども同士の出会いを演出するスキル

| G214 学級づくりシリーズⅣ ~ユニバーサルデザイン教育の基礎~ | | 研修時間 | 約40分 | |
|--|--|--------------|------------|--|
| | | 主な対象 | 第1S | |
| 目標 | ユニバーサルデザイン教育の3つの分野を理解する。 環境のユニバーサルデザイン化の留意点と具体例を知る。 人間関係のユニバーサルデザイン化の留意点を知る。 発達障がいについての理解と対応、周囲の子のタイプの理解と対応を | 理解する。 | | |
| 内容 | ・ユニバーサルデザイン教育の重要性と諸段階について ・教室環境をユニバーサルデザイン化する手法について ・発達障がいの子と、周囲の子も含めた学級づくりに役立つ人間関 係のユニバーサルデザイン化について | | | |
| G215 学紀 | | 研修時間 | 約40分 | |
| | ウンターで学級の横糸を育てる~ | 主な対象 | 第1S | |
| 目標 | 構成的グループエンカウンターが教育に有効な理由を知る。 構成的グループエンカウンターの理論を理解する。 時期とタイプに応じた構成的グループエンカウンターの実際を理解する | 00 | | |
| 内容 | 学級づくりにエンカウンターが有効な理由について 構成的グループエンカウンターの構造について 学級の初期に使えるエンカウンターについて 学級のルール作りに使えるエンカウンターについて 中期以降に使えるエンカウンターについて | | | |
| G216 Q-I | Jの基礎 | 研修時間 | 約50分 | |
| ~学級 | の"今"を知る~ | 主な対象 | 第1S | |
| 目標 | Q-Uのデータの基礎的な読み取り方を理解する。 Q-Uから学級集団の状態を判断するポイントを知る。 | | | |
| 内容 | ・Q-Uから分かること ・Q-Uから分かる4つのタイプの子どもたち ・Q-Uからみる学級集団の6つの型 | | | |
| G217 アセスを使った児童・生徒理解 | | 研修時間 | 約35分 | |
| | スの使い方・活かし方~ | 主な対象 | 第1S | |
| 目標 | 学校適応感尺度(アセス)の使い方と活かし方を知る。 アセスを使ってより的確な児童生徒理解を図る。 | | | |
| 内容 | ・問題行動と学校適応感 ・学校適応感の構造 ・アセスの特徴、実施の仕方、読み取り方 | | | |
| C001 37 | ナーションで自分も相手も大切にする心を育てる | 研修時間 | 約35分 | |
| GZZI / T | ノーノコノで日ガで付けて入りにする心を有てる | 主な対象 | 第1S | |
| 目標 | アサーションが学校教育に有効である背景を理解する。 アサーションの定義と目指す自己表現の方法を理解する。 アサーションを取り入れた授業の具体例を知る。 | 1 | | |
| 内容 | ・アサーションが必要な現代の子どもたちの実態について・アサーションの定義と目指すべき3つの自己表現について・アサーションを取り入れた授業の展開例を学ぶ | | | |
| G222 学級づくりに役立つソーシャルスキル教育 ~子どもたちにつけたいソーシャルスキル~ | | 研修時間 | 約35分 | |
| | | 主な対象 | 第1S | |
| 目標 | ソーシャルスキルトレーニングの理論を学び、学級で、学年で、学校で活 | 舌用できるミニゲームやト | レーニング法を学ぶ。 | |
| 内容 | ソーシャルスキルトレーニングとは効果的な授業の進め方実践!ソーシャルスキルトレーニング | | | |

| G223 今すぐ使えるミニ活動集 | | 研修時間 | 約25分 | |
|--|---|-------------|--------------|--|
| ~福井県 | 見版ポジティブ教育プログラムより~ | 主な対象 | 第1S | |
| 目標 | 人とのかかわり方のコツを学ぶための演習とその進め方を知る。 | | | |
| 内容 | ・演習の進め方 ・ミニゲーム「質問じゃんけん」、「餃子じゃんけん」、「どちらを選ぶ?」 ・ピア・サポート活動「〇〇さんのよいところ」、「秘密の友達」、「強みカー | ド」 | | |
| G224 子どもたちの人間関係を豊かにする! | | 研修時間 | 約60分 | |
| | ナポート実践編~ | 主な対象 | 第1S | |
| 目標 | ピア・サポートについての理解を図る。 ピア・サポートにチャレンジできる見通しをもつ。 | | | |
| 内容 | ・ピア・サポートが果たす役割と可能性、理論、構造・ピア・サポートトレーニングの実際①~⑤・プランニングからスーパービジョンまで | | | |
| | | 研修時間 | 約40分 | |
| • | 井県版ポジティブ教育プログラム ************************************ | 主な対象 | 第2S | |
| ~持続り | 能な幸福を育む学校づくりを目指して~ | 授業動画 | あり | |
| 内容 | ・ポジティブ教育の必要性とプログラム概要 ・レジリエンス教育の概要と授業例 ・持続可能な幸福を育む学校づくりの具体的な実践例 | | | |
| G231 望ましい合理的配慮と支援体制づくり ~適常学級の中で発達障害のある児童生徒への対応~ | | 研修時間 | 約30分 | |
| | | 主な対象 | 第 2 S | |
| 目標 | 合理的配慮の基礎知識を理解する。 学級や学校全体での合理的配慮と支援体制づくりについて理解する。 | | | |
| 内容 | ・気になる子の理解・合理的配慮とユニバーサルデザイン・学校現場での進め方 | | | |
| 3232 実践 | | 研修時間 | 約50分 | |
| | 発表会の事例より~ | 主な対象 | 第2S | |
| 目標 | 支援を要する子どもに対して取り組んでいる実践を知り、指導の一層の充実を図る。 | | | |
| 内容 | ・学びにくさを抱えた子どもたちへの段階的な支援の在り方 (小学校) ・通常学級に在籍する、特別支援が必要な生徒への支援の充実 (中学 | - 校) | | |
| G233 教育相談におけるチーム学校と外部人材の活用 | | 研修時間 | 約45分 | |
| 1200 321 | | 主な対象 | 第2S | |
| 目標 | 「チーム学校」として教育相談体制について理解する。 チームで行う効率的・機能的な教育相談の方法を知る。 | | | |
| | ・チーム学校とは | | | |

| G234 教育相談担当になったら ~高校編~ | | 研修時間 | 約30分 |
|---------------------------|--|------|------|
| | | 主な対象 | 第2S |
| 目標 | 高校における教育相談担当の役割について理解する。 治療的教育相談と開発的・予防的教育相談について知る。 | | |
| 内容 | ・ 高校における教育相談の目的と方法について ・ 高校における教育相談担当の機能 ・ 治療的教育相談と開発的・予防的教育相談 | | |
| G241 就学支援を進めていくための基礎知識 | | 研修時間 | 約30分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | 就学相談を進めていくための基礎知識について学ぶ。 | | |
| 内容 | ・就学支援の流れ ・担当者の役割 ・子どもの行動観察、担任・保護者への聴取の観点 | | |